

～スサノヲのヤマタノオロチ退治と改心～



タケハヤスサノヲノミコト



退治



ヤマタノオロチ

目が真っ赤で、胴体に八つの頭と、八つの尾があり、その長さは八つの谷と八つの丘にまたがるほど巨大な怪物。



「娘がヤマタノオロチの生贄になってしまう！」

高天原を追放され、出雲の地に降り立ったタケハヤスサノヲノミコトは、泣いている老夫婦に出会います。その理由を問うと、「娘が怪物の生贄になってしまう！」とのこと。タケハヤスサノヲノミコトは、酒を入れた八つの桶を置かせ、酒をのんで酔いつぶれたヤマタノオロチを剣で切り刻み、殺します。この時、ヤマタノオロチの尻尾から剣が出てきます。これは、アマテラスオホミカミに献上され、三種の神器の一つ、草薙之大刀となります。

※別名「天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)」

「八雲立つ、出雲八重垣 妻籠みに、八重垣作る その八重垣を」



タケハヤスサノヲノミコトは、須賀の地に降り、そこにお宮を作って鎮まられます。そこで、日本で初めてとなる、和歌をお詠みになられます。